

島根県看護連盟だより

TWO HEART

ツートハート

2020/5/22

第53号

総会号



INDEX

「堀川遊覧と菖蒲」

- 島根県看護連盟会長挨拶 ……2
- 新型コロナウイルス対策 要望事項 ……2
- 日本看護協会・日本看護連盟・看護職代表国会議員の動き ……3
- 島根県看護連盟事業の実施報告・事業計画について ……3
- 2019年度島根県看護連盟事業報告 ……4
- 2019年度島根県看護連盟決算報告 ……6
- 2019年度島根県看護連盟監査報告 ……6
- 〈第1号議案〉2020年度島根県看護連盟事業計画(案) ……7
- 〈第2号議案〉2020年度島根県看護連盟予算(案) ……8
- 〈第3号議案〉2020年度島根県看護連盟役員選出(案) ……8
- 医療現場からのレポート ……9
- 島根県看護連盟会員入会案内 ……9
- 現場の声を聞かせてください ……10
- ホームページリニューアル ……10
- LINE 公式アカウント情報 ……10
- 編集後記 ……10



発行：島根県看護連盟

発行責任者：会長 川合政恵

〒690-0049 松江市袖師町7-11 看護研修センター内
TEL(0852) 27- 6361・FAX(0852) 27- 6417
E-mail: shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp

島根県看護連盟
ホームページ

* 会長あいさつ *



島根県看護連盟 会長 川合政恵

本来なら、ナイチンゲール生誕 200 年となる 2020 年は、人々の健康の向上に貢献するための Nursing Now 世界的キャンペーンへの取組みが看護職一丸となり展開される年、年明けからの新型コロナウイルスの出現によって、その取組みの多くが自粛や縮小となり、医療現場の看護職は日毎にコロナ禍が拡大するなかで看護活動に従事している状況におかれています。

看護職の皆様におかれましては、日夜、感染管理対策への緊張感や負担感を抱きながらも懸命に業務に当たられていることに対して、心より感謝と敬意を申し上げたいと思います。

日本看護連盟は、新型コロナウイルス感染症に対応している看護職に対する危険手当の支給等について政府に要望しました。島根県看護連盟はこのことを踏まえ、現場の声も伺い、院内感染防止の手立てである物資不足、感染管理体制等の問題について合わせて県議会に要望しました。

4 月には診療報酬改定が行われました。これまで、看護職代表議員に対して現場の声として届け続けてきた、看護関連の加算の新設や見直し・追加が多く実現しました。看護職の働き方改革や質の高い看護の提供を後押しするものと期待したいと思います。

島根県 新型コロナウイルス感染症に対応している看護職員への 支援要望書提出

4 月 24 日に島根県議会自由民主党へ、
4 月 27 日には自由民主党島根県議会連
盟へ 島根県看護協会長と島根県看護連
盟会長が連名で要望書を提出しました。



要 望 書

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、島根県を含む全国に緊急事態宣言が発令され、様々な対策が取られているにも関わらず、感染経路が明らかでない感染例の報告が増加しており、無症状者が別の疾患等で医療機関を受診する可能性がある段階になってきています。島根県においても感染者が確認され、その拡がりや危惧される状況です。

医療現場の看護職員は、院内感染防止に最大留意しながら職務に当たっていますが、看護業務は 24 時間、365 日、患者に濃密に関わるという仕事であり、感染に対するリスクは甚大です。自らが感染の媒介者になるかもしれない不安や恐怖を感じながらも、看護職員としての責任感から懸命に職務に当たっています。

自らの危惧を雇い主新型コロナウイルス感染症患者等の看護業務に従事している看護職員を守り、1 日も早い終息に向けて、速やかな支援策を講じていただきますようお願いいたします。

－ 記 －

< 要望事項 >

1. 新型コロナウイルス感染症対応している看護職員への支援
 - (1) 危険手当の支給
 - (2) 宿泊費の補助
 - (3) 医療機関の医療職員を守る物品の速やかな供給
2. 妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の確保

日本看護協会・日本看護連盟・看護職代表国会議員の動き

新型コロナウイルス感染症への対応に最前線で働く看護職を守るために、日本看護協会、日本看護連盟は、厚生労働大臣をはじめ内閣府特命担当大臣（経済財政政策）他 自民党本部の幹部、関係省庁に数回にわたり新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出されました。



< 主な要望事項 >

- 医療機関における看護職員の確保対策の推進
- 医療機関、介護施設、訪問看護事業所に対する防護関連用具の確保、配布
- 訪問看護事業所における事務手続き等の柔軟な対応
- 学校配置の看護師等への処遇
- 妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の確保
- 新型コロナウイルス感染症に対応している看護職に対する危険手当の支給
- 医療機関内での PCR 検査への保険適応
- 訪問看護の利用者・従事者への支援

※詳細は看護協会・看護連盟ホームページを見て下さい。



あべ俊子衆議院議員、たかがい恵美子参議院議員、石田まさひろ参議院議員、木村やよい衆議院議員は、政治の場で現場の声に立脚した感染症対策を国が責任をもって進め、予算措置を講ずるようにと奔走されております。

各議員から看護職への感謝とメッセージが日本看護連盟ホームページ「ニュース・コラム覧」に掲載されています。



島根県看護連盟事業の実施報告・事業計画について

2019年度 事業報告について

1. 第 25 回参議院議員選挙については、看護職代表 石田まさひろ氏が当選を果たしました。島根県では、前回選挙を上回る得票数（会員比率 :103%）得ることができました。看護連盟会員意識調査によると、投票の判断材料となったのは、連盟研修会が最も高いという結果でした。仕事が忙しく時間がなかったとの理由で、投票できなかったが割合として多くありました。
2. 組織の拡大については、研修会等を通して連盟活動の意義・重要性について理解を得、新規の入会もいただきました。しかし、地域医療構想等に伴う急性期病床の縮小等から採用数減少等もあり、会員入会数は当初の目標の98%という状況に留まりました。連盟活動は「数は力なり」です。組織力の強化に向けた取組が課題です。年度後半に計画していた研修会等の事業・会議について、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、中止や縮小をせざるを得ませんでした。会員の皆様にはご迷惑をお掛けしました。次年度においてこのことを考慮し事業の推進を図っていきます。

2020年度 事業計画について

1. 組織力の強化については、会員入会目標数 2,600 達成のために、入会状況の分析・目標達成状況等の評価を行い、連盟活動への理解促進、適時に情報提供を行うなど、入会促進を図っていきます。また、支部単位・地区単位での意見交換会や青年部委員会を中心に、若手会員のより積極的参加が促進されるよう活動していきます。
2. 政治力の強化については、多くの看護職の皆様が連盟が行う事業に参加いただき、連盟活動が医療現場の仕組みや働く環境等と繋がっているということについて理解いただき、看護と政治について考えを深めていただけるよう活動を高めていきます。委員会活動、研修会等で現場の声を聞き、現場の問題の改善、解決に繋がられるよう看護職国会議員、地方議員に働きかけを行っていきます。

スローガンについて

日本看護連盟スローガンは、会員より募集をし、2020 年度に新スローガンを決定することになっております。最終決定していませんので、決定次第、皆様にお知らせいたします。

2019年度 島根県看護連盟 事業報告

項目	目 標	活 動	内 容 ・ 方 法 (活動推進方法)
組織力の強化	会員数の増加 会員数目標 2,600名 賛助会員数目標 200名	会員・特別会員の入会促進・継続	会員獲得活動の継続、退職者への継続加入の働き掛けを行う 情報提供(ツアード3回/年、ホームページなど)をする ホームページリニューアル(広報委員会) 研修会(基礎研修、ミニ集会、施設内研修など)を行う
		連盟未入会者の入会促進	入職時に連盟入会案内の配付、連盟活動の説明を施設担当者に依頼する 未加入施設への働き掛け(施設訪問、研修案内など)を行う 組織強化委員会を設置する
		賛助会員の入会促進	看護職 OB、知人、親族、議員等へ連盟入会の働き掛けを行う
		学生会員の入会促進	看護学校訪問をする ポリナビワークショップ等の参加を働き掛ける
		看護管理者、看護教育者の連盟活動への理解促進	施設訪問をする 看護管理者研修への参加、理解促進を図る 他県の会員との交流会を持つ(中四国ブロック看護政策セミナーへの参加) 中四国ブロック看護政策セミナー参加者のフォローアップをする
		県、支部活動の活性化	施設幹事、リーダー(部署連絡員)の複年次で育成 可能な範囲で役割を継続を図る 県、支部、施設内、部署内で役割遂行に向けてサポートする 支部単位または地区単位での施設幹事等の交流会を定期的(3~4ヵ月ごと)に開催する
	看護協会や他団体との連携強化	若手会員の育成	OB以外の7支部はできるだけ若者1名を幹事に置く 日本看護連盟・ブロックの青年部委員会への出席 施設内での青年部活動(ミニ研修、仲間作り)をする ポリナビワークショップ、研修会への参加促進を図る 青年部委員会を常設委員会とする
		日本看護連盟と県連盟、支部との連携	定期的会議を開催する、適宜情報交換する 支部活動の目標管理、活動評価を適時行う
		研修会参加後のフォロー	支部・施設内で研修会参加後に報告する場を持つ
		看護協会や他団体との連携強化	定期的に県看護協会との情報交換、意見交換の場を持つ 支部毎に協会と連盟の連携を図る 連盟活動への支援団体との交流・連携を図る
集票力の強化	連盟組織連携の強化	施設訪問や支部毎の交流会で連携を図る 県と支部で後援会活動計画を立てて行動する 看護協会や他団体の支援を得る	
	確実な投票行動を啓発する	投票の重要性を周知、投票行動の啓発、子会員への働き掛け 期日前投票の利用・場所の周知、選挙用紙の書き方の周知	
政治力の強化	看護政策に関する議論の活発化	看護問題解決のための活動 看護職の政治参画意識の向上	会員からの現場の声をきく場や情報交換の場を持つ 看護協会と情報を共有する 政策提言事項について会員への情報提供 現場の声活用委員会を設置し、問題解決に向けて検討する 議員との意見交換の場を持つ。看護政策実現のために働き掛ける 看護問題議員連盟に要望書を提出する 政治との関連性を学べる研修会を企画する 国会見学する
	看護職代表の国会議員の活動支援	看護職代表の国会議員の活動状況を周知	広報誌、ホームページ、研修会などで議員の活動について情報提供する 国政報告会・施設訪問・意見交換会の場をもち議員との連携を深める
	第25回参議院議員選挙の目標達成	第25回参議院議員選挙に向けて「応援する会」活動の推進	県と支部で「応援する会」活動計画を立てて行動する(後援会入会者数の目標を達成する)
	国会議員・地方議員との連携	県出身国会議員・地方議員との連携強化	活動報告会、「応援する会」活動等へ参加する 連盟活動への参加を依頼する
	中長期視点で看護職から地方議員候補者の育成	看護職の政治参画意識の向上	看護と政治の繋がりについて協会・連盟・施設内で研修会を実施
組織の適正な運営管理	日本看護連盟と県連盟、支部との連携強化	日本看護連盟と県連盟、支部との連携強化	適時、会議や情報交換の場を持つ
	事務局の適正な運営	会員情報の適正管理、業務の効率化	個人情報保護規定の学習
	会務・財務の適正管理	会務・財務の執行上の適正管理	事業・財務の適切な執行管理
	会員の福祉厚生への対応	慶弔への対応 活動中の事故への対応	規約に基づき慶弔への対応をする 活動に対する傷害保険・賠償責任保険の継続加入

- 重点目標** :
1. 会員は第 25 回参議院議員選挙で確実な投票行動をとる
 2. 組織力の強化を図り集票力のある組織をつくる
 3. 看護政策が実現できる政治力を持つ

実施結果
正会員：2,522名、特別会員：21名 計2,543名（目標達成率 97.8%） 新規入会者数：187名 再入会：44名 退会・未継続：266名
広報誌（ツ－ハート）50号、51号、52号発行 広報委員会が中心となりホームページリニューアルについて検討し、2020年4月にリニューアルしたホームページを公開 松江第1、松江OB、松江3支部合同、雲南、出雲3支部合同、大田、江津、益田、隠岐支部で実施
入会案内発送し、入会促進への協力依頼する 未加入施設への研修案内や施設訪問を実施。総会とリーダー研修以外は未入会員の参加も可能とし連盟活動について理解する機会を増やした 新規入会施設：1施設、再入会施設：2施設 委員会開催し、入会促進について検討中
184名（目標達成率 90%）参議院選挙の後援会活動への協力もあった
看護学校2校、県立大学を訪問する。学生の入会はなかった 学生の参加依頼を学校宛にしたが、学内行事等のため参加者なし
26施設訪問（支部単独の訪問は除く）し、看護連盟活動への理解と協力を依頼した 看護管理者・教育者対象の研修2回実施し124名参加あり リーダー2回にも看護管理者の出席あり
今年度は5名参加 今までのセミナー参加者から「現場の声活用委員会」の委員を依頼した
各施設毎に施設幹事や部署連絡員等担当者を決めてもらい、240名を登録 選挙活動では県支部でサポート体制を組み活動した 施設幹事等への連絡は訪問や電話で実施し、一堂に会することはほとんどできなかった （支部活動報告は総会要綱に記載）
若者層の支部幹事としての参加は難しく、施設幹事・部署連絡員として活動した ブロック会議に青年部5名参加し、研修後に伝達講習したり委員会活動に活かすことができた 施設内での基礎研修や新人研修、看護学校等での講師をし、連盟活動の理解推進に努めることはできた ポリナビワークショップ in 島根を開催し64名参加あり。20～30歳代の参加者が95%、研修初参加が87% 委員会は原則隔月で開催
会議を定期的に開催し、日本看護連盟やブロック協議会の動きは随時報告や情報交換は実施できた 支部ごとに目標を立てて計画的に実施
実施しているところもあるが、把握は不十分
2回開催、会長同士では適宜情報交換と協議あり ほとんどは協会支部と連携が図れているが、数か所連携が取り難い支部もある 選挙活動を通し各種団体の支援を得ることができた
県・支部で施設訪問を実施した。支部毎の交流会は調整ができず数支部しか実施できていない 計画を立てて実施したが、後援会入会者数の目標は83%であった 看護協会、地方議員、各種団体等の支援を得ることができた
ツ－ハートでの広報、研修会や施設訪問での説明などを行った 上記と合わせて実施。得票結果2,646票で前回選挙より200票多かった
調査訪問を7施設に行き現場の状況をきくことができた 協会との意見交換会は2回実施。会長間での情報交換や協議は適宜実施 研修会や会議で議員活動報告等を配布した 委員会を開催し、現場の問題から特定行為研修制度について協議中 県連盟として看護政策実現のための働き掛けはできなかった 今年度は要望書提出しなかった
各種研修会を実施し政治参画の重要性の理解促進を図った 18名参加。日本看護連盟総会参加と合わせた国会見学は政治への関心が高まる
議員活動報告を研修会等で行っているが、もっと会員へ伝える工夫が必要であった 第25回参議院選挙候補者だった石田まさひろ議員の研修や施設訪問を数回実施した たかがい恵美子議員とは、2/11に意見交換会を実施した
計画を立てて実施。後援会入会者数の目標は83%であったが、得票数は前回選挙より108%伸びた
案内があった議員の報告会等には出席し、情報交換の機会になっている 選挙活動には地方議員の協力・支援があった 研修会ではその都度説明した
日本看護連盟やブロック協議会の動きは会議等で随時報告や情報交換を実施
各自で実施し、特に問題となる事項はなかった
監査2回実施。監査結果は監査報告に記載あり 慶弔件数32件。その他看護大学や看護学校の卒業式や入学式には祝詞を送った 今年度も契約更新。事故1件あり傷害保険を適用し対応した

2019年度 島根県看護連盟 決算報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	予算との差	備考
I 会費	10,600,000	10,361,000	△ 239,000	
会員費	10,400,000	10,172,000	△ 228,000	2,543人
賛助会費	200,000	189,000	△ 11,000	189口/184人
II 本部助成金	12,000,000	12,485,120	485,120	会費還元金、活動費・会員管理助成金、基礎・新任支部長・リーダ等研修助成金、会議出席・県別会議助成金、事務局運営・支部運営助成金、青年部助成金他
III 預金利息	100	59	△ 41	
IV 雑収入	200,000	257,750	57,750	広告料、ドメイン料返金(4月～10月)
当期収入合計	22,800,100	23,103,929	303,829	
前年度繰越	4,626,587	4,626,587	0	
総計	27,426,687	27,730,516	303,829	

支出の部

項目	予算額	決算額	予算との差	備考
I 会議諸費	4,000,000	3,866,694	133,306	
総会費	1,500,000	1,565,731	△ 65,731	総会会場費、総会要綱、旅費他
役員会費	1,500,000	1,568,882	△ 68,882	役員会、役員・支部長合同会議費他
委員会費	1,000,000	732,081	267,919	委員会会議費他
II 事業費	13,700,000	12,195,605	1,504,395	
組織対策費	10,000,000	9,561,403	438,597	本部総会旅費、活動費、支部活動助成金、傷害保険料他
教育費	2,500,000	1,535,904	964,096	研修会等
渉外費	200,000	114,580	85,420	慶弔費 年賀状他
広報誌発行費	1,000,000	983,718	16,282	「ツーハート」発行費
III 運営維持費	8,840,000	8,727,418	112,582	
人件費	6,000,000	6,082,332	△ 82,332	職員給与・社会保険料
需給費	2,840,000	2,645,086	194,914	事務所借上、通信費、PPC利用料、HPリニューアル料、HP管理料、事務用品、消耗品他
当期支出合計	26,540,000	24,789,717	1,750,283	
V 予備費	886,687	0	886,687	
総計	27,426,687	24,789,717	2,636,970	

総収入 27,730,516円	総支出 24,789,717円	次年度繰越金 2,940,799円
-----------------	-----------------	-------------------

2019年度 島根県看護連盟 監査報告

島根県看護連盟規約第13条5により「事業の実施状況」「予算経理、会計事務の処理」について監査を年度半ばと年度終了後の2回実施しました。監査結果の概要を次の通り報告します。

- *事業の実施については、現況を踏まえ今後に向け ①更なる政治への関心や活動の浸透、②引き続き会員増員活動の促進、③現場の声を政策に結び付ける活動の継続を指導した。
- *予算経理、会計事務処理については、財務諸表、関係諸帳簿、証拠書類等いずれも適正であることを確認した。

監事 恒松洋子 飯野泰子

第1号議案

2020年度 島根県看護連盟 事業計画 (案)

- 重点目標 1. 組織力の強化を図り集票力のある組織をつくる
2. 看護政策を実現できる政治力を持つ

太字：新規事業

項目	目標	活動方針	内容・方法	
組織力の強化	1. 会員数の増加	1) 広報活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> 広報委員会はツアーハート、ホームページによる情報提供・連盟活動の理解・啓発を行う 広報委員会はホームページの活用促進を図る 新たなスローガンの周知を目指し広報の企画を行う 幅広く研修参加を募り(未入会者、未入会施設施設も含む)、連盟活動の理解促進を図る 基礎研修を徹底する 研修会や施設訪問の機会に、連盟活動の理解促進を図る 	
		2) 看護管理者・看護教育者の連盟活動への理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 施設訪問をし連盟活動の情報提供、活動への理解を得る 看護管理者・教育者研修会への参加、連盟活動に対する理解促進を図る 看護管理者の中国四国ブロック政策セミナーへの参加、他県管理者との交流を図ると共に、連盟活動について理解を深める 	
		3) 会員入会促進・入会継続	<ul style="list-style-type: none"> 会員入会活動を継続的に行う 退職者への継続加入の働きかけを行う 産育休等復職者に入会の働きかけを行う 未入会施設への訪問、入会働きかけを行う 新入職員への入会案内の配布と施設担当者へ連盟活動の説明依頼を行う 看護学校卒年次の学生に連盟活動について情報提供を行える機会を得る 組織強化委員会は入会状況の分析・目標達成状況等の評価を行い入会促進のための方策を検討する 	
		4) 賛助会員の入会促進・継続	<ul style="list-style-type: none"> 看護職OB・知人・親族・企業への入会働きかけ、連盟活動について広報を行う 看護補助者の入会を働き掛ける 	
		5) 学生会員の入会促進	<ul style="list-style-type: none"> 看護学校との連携について検討する 青年部より学生に連盟活動について情報提供する機会もつ 	
	2. 組織体制の強化	1) 県連盟活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 県・支部・施設が一体となり活動するために役割遂行に向けて情報提供・意見交換等を行う 県連盟・支部活動の目標管理。活動評価を役員・支部長会議で適宜行う 	
		2) 支部活動の活性化、支部と施設の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 支部単位・地区単位での施設幹事等の意見交換会・交流会を定期的に開催し連携を進める 支部間の交流、人材活用を進める OB支部以外の支部は若手会員と連携を図り活動する 	
		3) 若手会員の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 青年部委員会で県外会議の報告、伝達ミニ研修等を行い情報共有や意見交換等を行う 新人研修会の運営への協力、ミニ研修等を企画・実施する 日本看護連盟・中国四国ブロックの青年部委員会への出席 施設内での青年部活動(ミニ研修会、仲間作り)を進める ポリナビワークショップ、研修会への参加を促進する 	
		4) 施設幹事、リーダーの複年次での人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 施設幹事、リーダーの役割の継続について協力を得る 施設内・部署内での役割遂行に向けてサポートする 	
	3. 看護協会との連携の推進	1) 県看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> 県看護協会との定期的な情報交換・意見交換の場を持ち、組織活動の方針や事業への理解を得る 連盟役員・支部長の看護協会事業への参加を通して、協会活動の動向等を理解する 支部ごとの協会活動と連盟活動の連携を図る 	
	4. 関係団体・関係組織との連携	1) 関係団体・関係組織との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 機会を通して交流を図り連盟活動への理解、協力を得る 	
	5. 集票力の強化	1) 連盟組織の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟と情報を共有し県・支部が一体となって活動を推進する 	
		2) 確実な投票行動への理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 連盟活動のあらゆる機会を通して投票行動の周知・啓発を図る 	
	政治力の強化	1. 看護職国会議員の活動支援	1) 看護職国会議員の活動状況を周知	<ul style="list-style-type: none"> 看護職国会議員の国政報告会・意見交換の場を持ち議員との連携を深める 研修会等の機会に国政報告のチラシなど活用したり、広報誌で活動を伝えたりし、知名度の浸透を図る
		2. 看護政策の実現	1) 現場の声の把握と活用	<ul style="list-style-type: none"> 現場の声活用委員会の活動を通して現場の声を広く把握する 現場の声活用委員会の活動、施設訪問等で収集した現場の問題を分析し、看護協会への情報提供を行うと共に、改善・解決のための検討を行う 看護職員に看護政策の実現に向け働きかける 看護政策の実現に向けて看護協会と協同し県議会看護問題議員連盟への要望書の提出を行う 現場からの質問・意見について看護職国会議員に情報提供するなど調整を図る ホームページ活用による「現場の声」の収集を行う
3. 看護職の政治参画意識の向上		1) 看護と政治・政策の理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 議員活動報告・意見交換等を通して看護と政治・政策との繋がりについて理解を深める 看護と政策に関する研修会を看護協会と合同で開催する 	
4. 県出身国会議員、地方議員との連携		1) 県出身国会議員、地方議員との連携	<ul style="list-style-type: none"> 県連盟総会・連盟活動への出席、協力を得る 議員の活動報告会等に参加する 	
		2) 地方議員の看護活動への理解と看護政策の必要性への理解	<ul style="list-style-type: none"> Nursing Nowキャンペーン事業として、地方議員の医療現場の(病院・訪問看護ステーション等)実態について理解を得る機会を持つ 看護政策について地方議員に議会質問を要望をする 	
組織の適正な運営管理	1. 日本看護連盟との連携	1) 日本看護連盟との連携	<ul style="list-style-type: none"> 総会、都道府県会長会、中国・四国ブロック協議会会長会と連携し運営に当たる 	
	2. 会務・財務の適正な運営	1) 規約等に基づく組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 規約・規定・申し合わせ事項などに基づき組織運営を行う。必要により適宜見直しを行う 	
		2) 諸会議の円滑な開催	<ul style="list-style-type: none"> 総会、役員会、支部長会、各委員会等の円滑な運営・開催を行う 2021年度島根県看護連盟創立60周年記念事業に向けたプロジェクトを設置し、開催準備・記念誌発行に向けた検討を進める 	
		3) 会務執行と財務の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 事業・予算の適正な執行管理、監査年2回(上半期・下半期)行う 	
	3. 事務局の適正な運営	1) 効率的・効果的な業務遂行	<ul style="list-style-type: none"> 業務の見直等を進めながら業務を行う 	
2) 会員情報の適正管理		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規程の遵守、規定の学習・周知 		
4. 会員の福利厚生への対応	1) 災害、慶弔への対応	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟、県連盟の内規に基づいて対応を行う 		
	2) 県連盟活動中の事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> 活動に対する傷害保険、賠償責任保険の加入を継続 		

第2号議案

2020年度 島根県看護連盟 予算 (案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項目	2020年度予算額	備考	2019年度予算額	2019年度決算額
I 会費	10,600,000		10,600,000	10,361,000
会員費	10,400,000	会員 4,000円/2,600人	10,400,000	10,172,000
賛助会費	200,000	賛助会員 1口 1,000円/200人	200,000	189,000
II 本部助成金	11,000,000	会費還元金、活動費・会員管理助成金、基礎・新任支部長・リーダー等研修助成金、会議出席助成金、事務局運営・支部運営助成金、青年部運営助成金他	12,000,000	12,485,120
III 預金利息	100		100	59
IV 雑収入	200,000	広告料	200,000	257,750
当期収入合計	21,800,100		22,800,100	23,103,929
前年度繰越	2,940,799		4,626,587	4,626,587
総計	24,740,899		27,426,687	27,730,516

支出の部

項目	2020年度予算額	備考	2019年度予算額	2019年度決算額
I 会議諸費	3,200,000		4,000,000	3,866,694
総会費	1,000,000	総会会場費、総会要綱、旅費他	1,500,000	1,565,731
役員会費	1,200,000	役員会、役員・支部長合同会議費他	1,500,000	1,568,882
委員会費	1,000,000	委員会、記念誌発行プロジェクト費	1,000,000	732,081
II 事業費	12,450,000		13,700,000	12,195,605
組織対策費	9,500,000	会議出席費、活動費、支部活動助成金、傷害保険料他	10,000,000	9,561,403
教育費	1,800,000	研修会	2,500,000	1,535,904
渉外費	150,000	慶弔費 年賀状他	200,000	114,580
広報誌発行費	1,000,000	「ツーハート」発行費	1,000,000	983,718
III 運営維持費	8,800,000		8,840,000	8,727,418
人件費	6,500,000	職員給与 社会保険料	6,000,000	6,082,332
需給費	2,300,000	事務所借上、通信費、PPC利用料、HP管理料、事務用品、消耗品他	2,840,000	2,645,086
IV 予備費	290,899		886,687	0
当期支出合計	24,740,899		27,426,687	24,789,717

第3号議案

島根県看護連盟 役員選出 (案)

島根県看護連盟規約第11条に則り次の通り推薦いたします。

役職	氏名	再任・新任	役職	氏名	再任・新任
会長	川合政恵	再任	幹事	岡田治子	再任
副会長	桶田貢	再任	幹事	米田祝子	再任
監事	飯野泰子	再任	幹事	淀江君恵	再任
			幹事	木村留美子	新任

* 医療現場からのレポート *

ー タスクシフト・タスクシェアリング ー

働き方改革への取り組みが、各施設内で医療職種間のタスクシフト/タスクシェアリングが行われています。



医師との連携

公益社団法人 益田市医師会立 益田地域医療センター医師会病院
看護部長 齋藤 裕子

当院は 297 床のケアミックス型の病院です。平成 30 年 1 月に急性期病床が 1 看護単位に減少しましたが、回復期・慢性期・在宅と幅広く看護を担っています。

当院は医師の確保が困難な状況が改善できていません。そんな中看護師が担う役割が拡大し、認定看護師・特定行為研修修了看護師（以後特定看護師）等の活躍が高まっています。認定看護師は医師に積極的に相談し、現場の指導・改善や医療の質の担保、向上に尽力してくれています。また、特定看護師は医師の包括的な指示のもとに、医療処置、医師が外来診療や手術、検査に追われ入院患者様の対応が遅れがちになってしまう状況での、患者の異変時の対応に意識を向けています。その役割を単独にはできていませんが、医師とのコミュニケーションを大切にし、連携、信頼を得て仕事を行っていると感じています。定期的な処置などは任せていただいたりと、少しではありますがタスクシフトやタスクシェアを行っています。

マンパワーの確保困難な中で、少しでも働きやすい環境で業務すること、安全を確保できるようにすることが現在の課題です。



働き方改革 他職種協働が必要

医療法人 沖縄徳洲会 出雲徳洲会病院
看護部長 布野 文代

2019 年 4 月 1 日より「働き方改革関連法」が順次施行となりました。「働く人々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるようにするための改革」です。働き方を自分で選択できるようにするためには、選択された働き方を実行できるようにするためには、人員の確保も必要でしょうし、タスクシフト・タスクシェアリングの推進も必要です。

当院では、内服薬の管理において、配薬セットは薬剤師が担っています。患者の日常生活動作援助の一部として、食事時の食堂誘導（歩行時の見守りや車いす移乗等）や排泄誘導等は、リハビリテーション科とシェア。日常生活に関わる業務の他に、家族への医療上の判断が必要でない電話対応は看護補助者へシフトし、看護師の間接業務量が減少しました。

医師の働き方改革も必要です。医師の業務が看護師へシェアされ、看護師業務は看護補助者へ。では看護補助者は誰にシフトすればよいのでしょうか。課題は山積していますが、他職種で協働することで働きやすい職場となるよう、今後も取り組みを続けて参ります。

看護連盟会員 募集中

あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護と国民の健康福祉の問題解決を推進しています。

正会員 年会費 9,000 円 日本看護連盟会費 5,000 円、県連盟会費 4,000 円

特別会員 年会費 9,000 円 正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方

賛助会員 年会費 1,000 円 看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます

学生会員 年会費 無 料 就学している看護学生の方

お問い合わせ 事務局 TEL (0852) 27-6361 FAX (0852) 27-6417 E-mail: shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

現場の声を聞かせてください

世界的な大流行をきたした新型コロナウイルス感染症は、島根県でも4月9日に松江市で発生が確認され、その後も発生報告が続きました。

年度初めの厳しい看護体制、感染防護物品の不足、言われなき偏見、様々な問題に対して、現場での創意工夫で対応してこられたことに、心から感謝と敬意を表します。

新型コロナ感染症の治療薬やワクチンが開発されるまでは、第2波、第3波の流行が危惧されます。コロナ感染症に関わって困ったこと、今後に向けて改善して欲しいことなどお聞かせください。



新型コロナウイルス感染症患者に尽力する医療関係者に感謝を示し日本看護協会ビルを青色にライトアップ

ホームページリニューアル

島根県看護連盟 ホームページリニューアル



広報委員長 竹谷 友

この度、ホームページの活用促進を図るために4月よりホームページをリニューアルしました。今世代のスマホブームを考慮して見やすく、分かりやすく、使いやすいことを目的に制作しました。

「看護連盟って何してるのか分からない」などと思っている方もおられるかと思えます。現場で働く看護職がより働きやすくしたいです。そのためには、看護職代表の国会議員の方々に政治の力を発揮して頂くために私たちが抱えている疑問や課題を伝える必要があります。そこで、現場の声をホームページ上で聞かせてください。

今後の看護職が働きやすい環境に繋げるようにしていきたいと思えます。ホームページに関するご意見・感想もどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

また、会員向けのお知らせや研修案内等を随時更新してまいりますので、どうぞご活用ください。
(現在は、新型コロナの感染拡大防止のために研修会は延期です。)



島根県看護連盟のLINE 公式アカウント

今回ホームページリニューアルと同様にLINE公式アカウントを作成しました。みなさま友達を追加して下さい。



睡眠セミナー 無料サービスのご案内

水と、空気と、睡眠と。



東洋羽毛

良質睡眠でキラキラ輝く私に！

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずですよ —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社

島根営業所 ☎ 0120 - 996104 〒690-0055 島根県松江市津田町316-2



編集後記

21世紀は、“感染症の脅威”と言われてきましたが、今、新型コロナウイルス感染症が全世界へと広がっています。現場では、感染者の受け入れ対応や感染防止に苦慮されている日常があり心が痛みます。早期の終息を願いながら、お互いに体調管理には、十分に留意したいと思います。

広報委員一同